



議会だより

第45号

2018・1・26



第4回(12月)定例会

新年のごあいさつ・定例会概要	2~3頁
一般質問	3~5頁
委員会審議	6~9頁
議会のうごき	10頁

表紙：天空に立つコエグロ（一宇 久敷集落）

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、町政の発展と議会運営に多大なるご理解・ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

ご承知のとおり、地方、特に過疎地域の経済回復にはまだまだ遠く、本町における財政状況も一層厳しいものとなってきております。

町議会といいたしましては、町政を取り巻く環境の変化を的確に捉えながら、議決機関たるその使命と責任の重さを自覚し、町民の信頼と負託に応えられる議会を目指してまいります。

議員一同、議会の活性化と改革に取り組みながら、魅力あるつるぎ町のまちづくりに全力で取り組んでいく決意でございます。

どうか本年もご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、この一年が皆様にとって素晴らしい年にになりますようお祈り申し上げます。

平成三十年一月

つるぎ町議会
議員一同

町政のことこが聞きたい



佐藤千代美
議員

質問

佐藤議員

本町の観光振興及び特産物の販売促進について、お伺いする。一つ目は、日本農業遺産に認定されたことだが、

今後、世界農業遺産に認定されると考えると観光客等の増加が期待される。そのためにはどうしたらいいのか。

本町の日本農業遺産に認定された地域は、山間の狭くて急傾斜にある農地で、日々の暮らしは大変苦労が多かつたと思う。急傾斜の土はボロボロとし

て下に落ちていくので、それを搔き上げねばならない。作業姿勢も悪く、いろんな問題がある。貧しかった日本が豊かになり、多くの人が地域から流出して行つた。

だからこそ、今つるぎ町がしなければならないことはあるのではないか。よそにはない人と土地の愛

答弁

兼西町長

本年3月に、にし阿波の傾斜地農耕システムが日本農業遺産に認定され、さらに、世界農業遺産として申請しているところである。

情、思いをぜひ観光という形で守つていただきたいので、町の姿勢・ビジョンをお聞きしたい。

山間傾斜地集落が織りなす独自の景観と、長い歴史の中において、農家の人々の知恵と工夫、努力により成立し、継承されてきた暮らしと生活文化が、日本の顔となる地域独自の価値として認められるることは、地域にとって大きな喜びであり誇りとなるものだ。

今回の認定を機に、国内外からの観察団受入れの対応も必要となってくるが、観光施策については、体験交流型観光の推進を図つて

議案第69号 徳島県市町村総合事務組合規約の変更について

議案第69号 徳島県市町村総合事務組合規約の変更について

県総合事務組合の事務のうち、水防団員等の公務災害補償に係る事務等について5市町（松茂町・北島町・藍住町・美馬市・那賀町）が加入することに伴う改正。その他文言の改正。

議案第70号 つるぎ町議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

議案第72号 つるぎ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第71号 つるぎ町特別職の職員の給与に関する条例及びつるぎ町病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第65号 つるぎ町防災会議条例等の一部を改正する条例

議案第64号 つるぎ町水道事業経営審議会条例

議案第66号 つるぎ町防災行政無線施設（農村情報連絡施設）に関する条例を廃止する条例

議案第67号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算（第6号）

●専決第14号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算（第5号）

1億3872万6千円を追加補正し、総額85億687万6千円とする。林道災害復旧費（3路線）2086万2千円、道路橋りよう災害復旧費（3路線）4路線、河川3箇所）1億1363万円など。

議案第68号 平成29年度つるぎ町病院事業会計補正予算（第1号）

2億8964万4千円を追加補正し、総額87億9652万円とする。地区すべり対策費（日浦、長瀬地区）560万2千円、学校給食センター整備工事費2億1760万円など。

議案第69号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算（第1号）

2億8964万4千円を追加補正し、総額87億9652万円とする。地区すべり対策費（日浦、長瀬地区）560万2千円、学校給食センター整備工事費2億1760万円など。

議案第73号 専決処分の承認を求めるについて

●専決第13号 平成29年度度つるぎ町一般会計補正予算（第4号）

1671万1千円を追加補正し、総額83億6815万円とする。衆議院議員選挙費1391万円、地すべり対策工事費（坂根地区）210万1千円など。

議案第65号 つるぎ町防災会議条例等の一部を改正する条例

法律の改正に伴う改正。防災会議委員に自主防災組織を構成する者又は学識経験者を追加他。

議案第68号 平成29年度つるぎ町病院事業会計補正予算（第1号）

2億8408万5千円とする。医事システム電子カルテの更新費用。

議案第72号 つるぎ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第71号 つるぎ町特別職の職員の給与に関する条例及びつるぎ町病院事業管理者の給与に関する条例の一部を改正する条例

議案第65号 つるぎ町防災会議条例等の一部を改正する条例

議案第64号 つるぎ町水道事業経営審議会条例

議案第66号 つるぎ町防災行政無線施設（農村情報連絡施設）に関する条例を廃止する条例

議案第67号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算（第6号）

●専決第14号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算（第5号）

1億3872万6千円を追加補正し、総額85億687万6千円とする。林道災害復旧費（3路線）2086万2千円、道路橋りよう災害復旧費（3路線）4路線、河川3箇所）1億1363万円など。

議案第68号 平成29年度つるぎ町病院事業会計補正予算（第1号）

2億8964万4千円を追加補正し、総額87億9652万円とする。地区すべり対策費（日浦、長瀬地区）560万2千円、学校給食センター整備工事費2億1760万円など。

議案第69号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算（第1号）

2億8964万4千円を追加補正し、総額87億9652万円とする。地区すべり対策費（日浦、長瀬地区）560万2千円、学校給食センター整備工事費2億1760万円など。

まいりたいと考えている。目で見る観光からその土地の暮らしを自身が体験し地域の方々との交流を深めていただくというものだ。そのためにも受け入れる側の体制を整える必要があるかと考へている。

例えば、現在受け入れを行っている中高生の教育旅行だが、これまで30件の登録農家で2千人を受入れ、農業体験を通じて交流を深めている。生徒達にとっても貴重な体験であり、農家の方にとつても都会の子



たち

なかろうか。
特産物の生産、販路拡大について、町のバックアップをどのように考えているか、意見をお聞きしたい。

答弁 兼西町長

町特産の「半田そうめん」や「ブロイラー」産業は、町内での雇用確保の面でも大きく貢献している。特に阿波尾鶏においては、地鶏の生産量・販売額共に日本一となつてている。

ささらに、あたご柿、大和柿、ゆず、せんまい等の主力作物があり、近年は農業遺産においても着目され

いるそば米など雑穀類の生産販売の支援を行つているところだ。消費者の需要や価値観が多様化するなか、さらなる販売促進を図るために、他の特產品と組み合わせたり、付加価値を付けた農産物の生産・加工、流通販売においても農業者が関わる6次産業化を



▶ つるぎ雑穀生産販売組合の新商品5種類(こきび・そば米・たかひ・粟・もちきび)

間から「つるぎの達人」というガイドを32名養成して、民泊としての収入を得ることにより、農業の維持、発展している農家もある。

また、企業や学生のモニターツアー、野外調査の受入れや、一般的宿泊者が利用できる農家運営の民宿、いわゆる農林漁家民宿へと発展している農家もある。傾斜地農業ブランドの農作物、加工食品製造販売や雑穀を用いた郷土料理の開発についての研修を積極的に行うなど、今後さらなる拡充が期待される。

また、年間5万人を超える登山客が訪れる剣山を背景に巨樹巡りや自然散策できる体験ツアーも展開している。県内外に980人の会員を持つ「つるぎクラブ」では年2回(春・秋)クラブツアーや掲載した会報誌をお届けし、常連客として訪れる方が新たな人を連れてくることにも繋がっている。受け手としても民

間から「つるぎの達人」というガイドを32名養成して、民泊としての収入を得ることにより、農業の維持、発展している農家もある。傾斜地農業ブランドの農作物、加工食品製造販売や雑穀を用いた郷土料理の開発についての研修を積極的に行うなど、今後さらなる拡充が期待される。

「世界農業遺産」とは、その地域に暮らす人々の生活や文化も含め、伝統的な農業を営む地域の価値を評価し、認知度を高めることで、地域の振興や活性化を後押ししようとするものである。

「住んでよし訪れてよし」の言葉には、自らの地域を愛し、誇りを持って暮らしある。



◀ 農業体験ツアーでの自然散策

先月には、国連食糧農業機関(FAO)の現地調査を終え、調査員からは「人々が地道な農業で守ってきた当地域にキラキラとした未来を感じる」と、高い評価をいただいた。しかしながら、同時に、後継者不足が問題になつた。これまでの農業で守ってきた地域にキラキラとした未来を感じる」と、高い評価をいただいた。しかしながら、同時に、後継者不足が問題になつた。

二つ目は、本町は全国的に知名度を持つ半田そうめんがあるが、その他にも干し柿やゆず、そば米などの地域に売り出せる物がある。それらを多くの人に知つてもらうために、町としてすることがあるのではないか。一つの物が売れて特産物になつたら、新しい人がやってみようと思ふ。働くいたら、次々に協力しようとなつていく。それが町づくりではあります。

また、町を代表する特産物を町のPRに活用するというのも非常に大切になつてくるのではないか、どうか。そういう面の考えについてお伺いしたい。

質問 佐藤議員

「後継者不足」と町長の答弁にあつたが、今、70代後半から80代前半の方が

地域では頑張つておられる。その人たちが5年したらどうなるのだろうと、いう現実がある。本当に土を愛して頑張つている分だけ、人々も非常に温かくて仲がよい。

しかし、その人たちが今高齢化している。後継者のいらないその地域で、一体この農業遺産をどう守つていくのか。この5年の間に何かをしなければ、具體的に考えていただかなければ、すぐになくなってしまう現実がある。

今後とも、農家、関係機関と密接な連携を図り、特

産の宣伝・販売促進及び消費拡大を積極的に推進して参りたいと考えている。

答弁 兼西町長

その基本姿勢のもと、町の方向性をどのようにしていくかは、議会ともしっかりと協議をしながら見極め、財源を投資する必要がある。費用対効果というバランスもしっかりと考察なければならない。

その方向性をどのようにしていくかは、議会ともしっかりと協議をしながら見極め、財源を投資する必要がある。費用対効果というバランスもしっかりと考察なければならない。

さらに大きく前進できる道とともに探つていただきたい。今後、本音の議論をして良い方向へ結果を出したいと考

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会では、主に教育、福祉、保険及び病院等に関する議案を審査します。

委員会での審議

委員会審議

議案第67号

答弁(古林教育委員会次長)

平成29年度つるぎ町一般会計補正予算(第6号)

の調理の際も塩素水に浸して消毒するという工程が必要となるが、塩素に抵抗のある保護者の方もおられる。そこで、電解水という殺菌剤を使用する方向で進めていく。

●ドライ方式の給食センターに変わることによる設備の更新費用があるわけではない。

●床に水が落ちない構造の施設・設備・機械・器具を使う方法。細菌の繁殖や床からの跳ね水による食品汚染を防ぎ、衛生的に調理できる。

たいと考えている。

※ドライ方式とは:

床に水が落ちない構造の施設・設備・機械・器具を使

12月5日開催

委員長	小野 誠治
副委員長	谷川 真二
委員	三好 昭義 小坂 重夫 西谷 一廣
副議長	森長 秀行

12月5日開催

質疑(西谷)

■新しい給食センターの工事請負費は、どの程度になる予定か。財源の節約も重要だが、おいしい給食を子どもたちに提供を

答弁(古林教育委員会次長)

5億5千万円程度である。設備が専門的なプランとなるため、割高となる。

質疑(小野)

■新しい給食センターの第1期工事とは、どこまでを言うのか。また、他の給食センターよりも進んでいるという点は

■生野菜を提供することで、特別に用意する設備はあるか

質疑(小野)

■生野菜を提供する場合に、野菜を洗浄する場合に、次亜塩素水を使う。生野菜

■ドライ方式の給食センターに変わることによる設備の更新費用があるが、夏休みを使った研修や新しい給食センターの運営がスマートに移行できるよう旧給食センターとの平行稼働も検討している。今回と来年度で予定

質疑(谷川)

■ドライ方式の給食センターに変わることによる設備の更新費用があるが、夏休みを使った研修や新しい給食センターの運営がスマートに移行できるよう旧給食センターとの平行稼働も検討している。今回と来年度で予定

したものの、パソコン本体やプリンターなどのハード機器の耐用年数は大幅に過ぎており、新たなソフトに更新することも不可能な状態である。今回と来年度で予定している電子カルテ関連システムの大がかりな更新では、パソコン本体やプリンターだけでなく、医療需要に幅広く対応するためのソフト面も全面的に見直すこととなる。

質疑(小坂)

■障害者福祉費と児童福祉総務費の過年度過誤納還付金が発生した理由は、利用者の減少によるものではないのか

質疑(二宮福祉課長)

利用者の減少によるものではない。障害福祉サービス補助金の還付金は、例年12月に変更交付申請を行い補

助金額を確定するが、その際、年度末に予算不足が生じないように余裕をもって申請する。これは、その余剰分の返還で、児童福祉総務費も同様である。

質疑(小坂)

■障害福祉サービスの利用者数と費用の推移は

答弁(二宮福祉課長)

利用者数については、平成24年度が129人、平成29年度12月1日現在は139人である。費用についても右肩上がりで、利用者の高齢化等に伴う利用量の増加、また今年度から介護職員の処遇改善加算による増加にもよるものと思われる。

■障害の程度によつても費用が変わらぬのか。その認定はどのようにされるのか

答弁(二宮福祉課長)

障害の程度は1～6まで

の区分に分けられ、区分に

質疑(小坂)

■障害の程度によつても費用が変わらぬのか。その認定はどのようにされるのか

答弁(二宮福祉課長)

事業会計補正予算(第1号)

平成29年度つるぎ町病院

事業会計補正予算(第1号)

質疑(西谷)

■災害用備品とはどのようなものを購入するのか

質疑(西谷)

名づけの2班体制の交替制度毎月1回審査会で判定を行っている。

質疑(西谷)

美馬地区障害支援区分審査会の審査委員10名が、5名づけの2班体制の交替制度毎月1回審査会で判定を行っている。

質疑(西谷)

西側外来駐車場拡幅工事の事業費をご承認いただきている。施工する大橋谷川は一級河川であり、工事内容等については、県とも継続的に協議を進めながら設計図面を作成している。年度内には河川の占用許可もいただきながら、早期着工を図りたいと考えている。

質疑(西谷)

今年度、新たに避難所として指定した半田地域福祉センターに折りたたみ式簡易ベッドとプライバシー保護のためのパーテーションの購入を予定している。

質疑(西谷)

更新するための補正という事だが、コンピューターのハードを変えるのか、ソフトを変えるのか

質疑(西谷)

ステムは平成22年度に導入

質疑(西谷)

更新するための補正という事だが、コンピューターのハードを変えるのか、ソフトを変えるのか

質疑(西谷)

ステムは平成22年度に導入



▲つるぎ町立半田病院全景(平成29年11月)

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会では、主に農林、建設、商工、観光、環境、水道及び地籍等に関する議案を審査します。

承認第3号

専決処分の承認を求めることについて

● 専決第13号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算(第4号)

12月6日開催	
委員長	伊庭 英俊
副委員長	尾関 伸也
委員	小坂 重夫 齊藤 嘉文 森長 秀行
委員長	伊庭 英俊



台風21号による町道貞光西端山線の道路崩壊
(平成29年10月22日、貞光木屋)

■ 重機借上を計上しているが、主要幹線以外の町道等の土砂取除きも全て完了しているのか

答弁(板谷建設課長)

作業班で順次取り除いている。

つるぎ町水道事業經營審議会条例

議案第64号

委員会審議

つるぎ町水道事業經營審議会条例

■ 給水人口が減少しているが、今後の見通しは

答弁(鎮山水道課長)

給水人口の減少は、人口の減少に伴い今後も減少していくことが考えられる。

平成18年度給水戸人口

9687人、給水収益1億5117万8730円、

年間使用水量104万5199m³。平成28年度給水戸人口8002人、給水収益1億2922万7013円、年間使用水量86万3032m³である。

人口で1685人の減、収益2195万1717円の減、使用水量も18万2167m³の減で、ともに減少している現状である。

総務常任委員会

総務常任委員会では、主に戸籍、税務、防災、管財、出納及び他の2つの委員会(文教厚生・産業建設)に属さない議案等を審査します。

承認第3号

専決処分の承認を求めるについて

● 専決第13号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算(第4号)

12月7日開催	
委員長	上家 洋子
副委員長	佐藤千代美
委員	長浦 英彰 田野 一二三 吉田 光子
委員長	小坂 重夫

■ 人口が減少する中、選舉に伴う投票所の投票立会人・事務従事者の人数が多いのでは

答弁(中川総務課長)

各投票所の投票立会人2名は、公職選挙法で定められた最低の人数で対応している。

答弁(中川総務課長)

衆議院議員総選挙の事務従事者は今回、小選挙区、比例代表、国民審査と投票用紙が三種類あつたことから、国の基準も参考にしながら多く配置し、慎重に選挙事務に当たった。

当該用地は進入路として要の位置にあり、早急に買収する必要があつたため、専決補正予算として上程するものである。

美馬市側の土地買収部

分は、今回は中道南の一部

を道路用地並びに調整池

として先行取得するものである。

なお、調整池は、今回排

水機場(2t/s)を整備す

るにあたり、遊水池内(約25ha)での道路等による嵩上げを行う場合には、その体積分以上の空地を造る必要があるため、整備するもので地と同じ4200円/m²で、(約1万3800円/坪)である。

当初、町道小山北1号線拡幅工事は、つるぎ町側の民地を買収し整備する計画であつたが、計画線上に巨額な移転補償費を伴う物件があることが判明したため、経済的理由により一部、美馬市側に道路をふる方向で計画を変更し、用地交渉を行つた。

● 専決第14号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算(第5号)

当該用地は進入路として要の位置にあり、早急に買収する必要があつたため、専決補正予算として上程するものである。

美馬市側の土地買収部

分は、今回は中道南の一部

を道路用地並びに調整池

として先行取得するものである。

なお、調整池は、今回排

水機場(2t/s)を整備す

るにあたり、遊水池内(約25ha)での道路等による嵩上げを行う場合には、その体積分以上の空地を造る必要があるため、整備するもので地と同じ4200円/m²で、(約1万3800円/坪)である。

● 専決第14号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算(第5号)

■ 第3小山北工業団地整備に関する質疑

答弁(武田まちづくり戦略課長)

この度の買収土地は、つるぎ町と美馬市の境にある美馬市側の田(美馬町字中道南)、1008m²(約305坪)である。買収単価は、すでに取得している造成予定地と同じ4200円/m²で、(約1万3800円/坪)である。

● 専決第14号 平成29年度つるぎ町一般会計補正予算(第5号)

■ 第3小山北工業団地整備に関する質疑

答弁(武田まちづくり戦略課長)

この度



「にし阿波の傾斜地農耕システム」が平成29年3月、日本農業遺産に認定されました！

急傾斜畠でよく見かけるコエグロは、カヤ(ススキ)を天日干し乾燥させるためのものです。

毎年8～10月ごろ、刈り取ったカヤを円錐状に積み重ねていくコエグロ作りが行われます。この状態で冬を越した後、2月ごろにコエグロのカヤを短く切って、畠の畝の間に敷き、急斜面の土が流出するのを防ぐために使われます。また、雑草の生育を抑えたり、腐敗すると肥料としての効果があり、コエグロは急傾斜地での農業に欠かせません。



▲一宇久藪集落では、農家の人たちが協力して大きなコエグロをたくさん作り、春の訪れ待ちます。

議会の動き

1月16日	12月15日	12月12日	12月9日	12月6日	12月5日	12月4日	11月27日	11月20～22日
議会広報編集常任委員会	第4回定例会閉会本会議	文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会	総務常任委員会	全員協議会	第4回定例会開会本会議	議会運営委員会	町村議会議長全国大会
議会広報編集常任委員会	第4回定例会閉会本会議	文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会	総務常任委員会	全員協議会	第4回定例会開会本会議	議会運営委員会	町村議会議長全国大会
議会広報編集常任委員会	第4回定例会閉会本会議	文教厚生常任委員会	産業建設常任委員会	総務常任委員会	全員協議会	第4回定例会開会本会議	議会運営委員会	町村議会議長全国大会

※『つるぎ町議会だより』への意見・
ご要望をお寄せください。

▲急傾斜畠に立地並びにコエグロ（一宇久藪集落）

発行 つるぎ町議会 編集 つるぎ町議会広報編集常任委員会 つるぎ町議会 〒779-4195 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字東浦1-3 Tel 0883-62-3111 fax 0883-62-4944 Web_サイト <http://www.town.tokushima.lg.jp>